

**第2次はだの生涯元気プラン〔秦野市食育推進計画〕（案）に対する
パブリック・コメント手続きの実施結果について**

1 意見募集期間

市民 平成28年1月16日（土）～2月15日（月）

2 意見募集の周知方法

広報はだの2月1日号及び市ホームページ

3 意見提出の方法

郵送、FAX、メール及び持参の方法による

4 提出された意見の内訳と内容

市民から 11件

意見内容	件数
プラン全体に関する意見	0
第1章 プランの策定にあたってに関する意見	0
第2章 本市の食に関する特色に関する意見	1
第3章 本市の食を取り巻く現状に関する意見	5
第4章 プランの基本的な考え方に関する意見	2
第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策（機関別）に関する意見	3
第6章 ライフステージ別の取組み（個人の取組み）に関する意見	0
第7章 プランの推進体制に関する意見	0
参考資料等に関する意見	0
合計	11

5 提出された意見の取扱い

区分	取扱い	件数
A	意見等の趣旨等をプランに反映したもの	1
B	意見等の趣旨等はすでにプランに反映されていると考えるもの	4
C	意見等の趣旨等をプランに反映することは困難だが、施策展開で参考とするもの	1
D	内容に関する感想等、その他のもの	5

通番	御意見等の内容について		プラン案への反映状況	
	項目	御意見等	区分	御意見・ご提案に対する考え方
1	第3章 本市の食を取り巻く現状	<p>【質問1】各ページに帯グラフが載っていますが、軸別のサンプル数がないため、軸間データの優位性の判断が出来ません。例えばP19の「朝食を食べない理由」では、60代以上はきれいに40:60と分かれています、サンプル数が相当少ないために起こった結果ではないかと思われるが、サンプル数の表記がないためスコアの信ぴょう性が分かりません。</p> <p>それと「Webアンケート調査」とありますが、代表性はどの程度担保されていますか？例えば各年代について、市内の年齢別構成比に沿って割り付けて調査したものかどうかをお聞きしたいと思います。そうならない場合は、代表性のあるデータとして疑わしくなってきます。</p>	B	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>市民Webアンケートは、市民意識調査（郵送式）にかわる方法として、活用している市も少なくありません。郵送式調査の回収率が低く、時間、費用がかかる中、市内の年齢構成比、性別、地区、人口構成の代表性を担保し、現行予算の中でできる有効な調査として行っています。統計上、全体の傾向を推測した時に、どの程度傾向のずれが生じるかを区間推定法によって算出した時に、400というサンプル数を確保すれば95%の信頼性が得られるとされています。市民の皆さんの傾向を知り得る信頼できる調査です。ご質問のP19の朝食を食べない理由のグラフは、「食べない人」への2次質問であり、他のグラフと比較すると、どの年代のサンプル数も極端に少ない現状です。朝食を食べない理由は、「おなかが空いていない」「朝食の用意をしていない」「食べる習慣がない」という3つの大きな理由をあげたものです。しかし、2次質問だとわかりづらいようですので、いいえとお答えいただいた全体の人数(103人)を追加表記いたします。</p>
2	第2章 本市の食に関する特色	<p>【意見・要望1】P11の「ポンチーヌ」ですが、キャラクターのコンセプトが非常に曖昧です。</p> <p>まず秦野市の形を犬とするのには「こじつけ感」があって無理があるし、秦野の食育なのにフランス生まれという設定も不自然です。恐らく「盆地犬(ぼんちいぬ)⇒ポンチーヌ」で、言葉の響きがフランス語っぽいのでそういう設定だと思いますが、秦野を考えるならばプロフィールの設定をもう少し煮詰めた方がいいと思います。</p> <p>「246号のリボン」というのも強引で、そのリボンを集めるのが趣味というの不可解です。</p> <p>食育推進委員からの要望はあるにしても、このキャラクターを通して秦野の食育をPRしていくならば、きちんとしたキャラクター戦略がないと成り立ちませんし、そういうベースがあって初めてPRできるキャラクターが生まれると思います。</p> <p>これではいかにも「にわか仕立て」の感が否めません。</p>	B	<p>御意見ありがとうございます。職員が考えたキャラクターなので、お気に召さない点も多々あるかと存じます。市民からの公募方式も考えましたが、企画や制作、実践に時間と費用を要すると考えられたため、プランの実施にあわせ少しでもできることから食の大切さを広めていきたいと考案したものです。生まれも育ちも秦野の管理栄養士が、秦野市の地図を見て妖怪の一反木綿にしか見えない本市のアウトラインから、ペイントのエアブラシを使い、一匹の犬のイラストを作成したのが始まりです。ポンチーヌのコンセプトは、課員のユニークなアイデアで「食をもっと親しみやすくしたい」と考案しました。もともと、これらのゆるさやとも言えるキャラクターのコンセプトは、そのキャラクターの人格づくりにあたって、ある一種のユニークな「こじつけ」=由来が必要と考えます。また、そのこじつけ観(由来観)がキャラクターの命である楽しさやユニークさ、親しみやすさにつながるものではないでしょうか。ポンチーヌは現在、市内幼稚園、こども園、小学生、中学生からも非常に親しまれているキャラクターです。正式な秦野市の食育キャラクターとして、庁内合議を経て、平成25年4月にイラスト、平成26年6月にオリジナル食育ソングを、平成26年11月に着ぐるみを手作りで作成いたしました(材料費:1万7千円)。最近では、市民の食への意識の乖離も見られます。少しでも若い世代やその親世代の方々へ、食への関心を持っていただけるように、ポンチーヌを作成したものです。食育の普及啓発は、その成果がすぐに出るものとは考えづらく、地道で根気が必要なものだと思います。キャラクター戦略につきましては、広報課シティブロモーション担当や、食育推進委員会からも御意見をいただき、今後もポンチーヌによる食育を進めていきたいと考えております。</p>
3	第3章 本市の食を取り巻く現状	<p>【意見・要望2】P19～20において、「朝食習慣のない子供は虫歯が多い」という結果に対して、「規則正しく3食とることは生活リズムを規則的にし、口腔内の衛生を保ち、虫歯を予防する効果が期待できる」と結論付けていますが、それぞれのつながりは推測に過ぎず、しかもこれは結果であって、原因となる分析がされていません。</p> <p>「3食とること」が「生活リズムを規則正しくすること」ではなく、「生活リズムが規則正しい」から「3食とることにつながる」のです。それが「口腔内の衛生維持」につながる結論に持っていくのは、ちょっと飛躍しています。</p> <p>「朝食習慣のない子供は虫歯が多い」というのは、家庭において子供に対する「食指導」を含めた教育がおざなりになっていることで、朝食や子供の虫歯に対して無頓着となっている親の意識・感覚こそが原因かと推測されますが、そういう意識の改善がなければ規則正しい食事、口腔衛生に対する配慮もないと思います。</p>	B	<p>御意見ありがとうございます。乳幼児期の特有の傾向として記載させていただきました。言葉による意思疎通が不十分である1～3歳代のお子さんのむし歯予防として、乳幼児健康診査における食育指導の現場では、規則正しい生活リズムをつくること=具体的に「朝食、昼食、夕食で、生活リズムをつくること」をお話させていただいています。生活リズムを規則正しくするといっても、大人と違い抽象的でわかりづらいためです。さらに健康的な生活習慣づくりのために、朝食、昼食、夕食という3食規則正しい食事からの生活リズムづくりを、まずは朝食を食べるという切り口で、具体的に話しております。また、朝食を食べるには早寝、早起きが大事です。早寝、早起き、朝ごはんの大切さ、食からの生活リズムづくりを各乳幼児健康診査の食育指導で行っています。また、おなかが空いたときや食事の前後に分泌される唾液による乳歯の再石灰化作用(唾液緩衝能)も、むし歯予防につながっています。今後も、さらにこれらの情報を、乳幼児健康診査において提供できるように努めていきたいと思っております。</p>

通番	御意見等の内容について		プラン案への反映状況	
	項目	御意見等	区分	御意見・ご提案に対する考え方
4	第3章 本市の食を取り巻く現状	【質問2】P29以降では「第一次食育プラン」の成果として、ABCランクで評価していますが、これは何かの指標に基づいて行っていますか？それとも主観的なものでしょうか？	D	食育推進庁内会議にて、評価の項目、分類の客観性を協議した結果、わかりやすい評価分類の項目を設定しました。また、他市のプランにおいても、○×方式など独自に評価項目を設けています。
5	第3章 本市の食を取り巻く現状	【意見・要望3】P30の「食品の安全性確保」の評価ですが、これは回答方法の変更に伴うスコア変動であって実体を反映したものではないので、他と同じように評価するには無理があります。*印などにして、別途注釈で説明した方がいいと思います。	A	御意見ありがとうございます。別途注釈を表記いたします。
6	第3章 本市の食を取り巻く現状	【質問3】P31の「(1)食を通じたコミュニケーションの確保」で、H25年の「家人と一緒に食事をしている小・中学生の割合」は62.8%となっていますが、P26のグラフ(図3-14)のデータとかい離があるのは、P31は朝食も含めたデータという理解でよろしいでしょうか？	D	御指摘の数值は、家族と一緒に夕食を食べている子どもの割合になります。
7	第4章 プランの基本的な考え方	【質問4】P42の「残食率」ですが、現状値3.7%も神奈川県でデータでしょうか？ 注釈4の意味がよく分かりません。 現状値が秦野市のデータで目標値が神奈川県のデータだとしたら、(注釈があっても)並べてあると誤解してしまいます。	D	残食率3.7%は秦野市のデータです。神奈川県保健給食課において、学校給食における残食率の基準5.0%以下を設けており、その基準値を本市の指標として採用しています。給食における食育の役割に、一緒に食べることによる好き嫌いの克服があります。学校給食の献立は、単に完食を目指し、残食率0%を目指す意図のものではありません。栄養バランスも考え野菜の煮物、海藻類を使った料理などの食べられないもの、家庭ではあまり作られなくなった料理等も、クラスと一緒に食べることにより、嫌いなものを食べられるようになるための機会をつくるため、学校給食の献立に残食率が高い料理も定期的に提供されるように意識して取組まれています。
8	第4章 プランの基本的な考え方	【意見・要望4】P51の「毎月19日は秦野市民の食育の日」というのは初めて知りましたが、これは浸透しているのでしょうか？もっと具体的に啓蒙・PRしていいかも知れません。 それと、19日の学校給食はそういう趣旨に沿ったメニューとなっているのでしょうか？ そういうメニューがあるのであれば、「学校給食 食育の日メニュー」として、写真や内容を盛り込んだ方がいいと思います。	B	御意見ありがとうございます。今後は毎月19日を食育の日として市内の様々なところで食育を普及啓発していきます。
9	第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策(機関別)	【意見・要望5】P53の「⑨地域における郷土料理等の継承の促進」ですが、「国際理解講座～世界の料理」に加えて、秦野市と縁のあるパサディナ市(アメリカ)やパジュ市(韓国)ゆかりの料理紹介や実演の機会もあれば面白いと思います。	C	貴重な御意見ありがとうございます。次回改定の際の御意見として承ります。
10	第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策(機関別)	【質問5】P55の「アイデア料理コンテスト」で、優秀作品は「応援サポーター店」で、期間限定メニューで提供されるということですが、具体的な情報(所在地や値段、期間など)は、広報などで告知されているのでしょうか？	D	サポーター店における期間限定メニューについては、市や観光協会のホームページで所在地、値段、期間等が掲載されています。また市内小中学校でのチラシの掲載、タウンニュースへの掲載依頼によって広く広報を行っています。
11	第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策(機関別)	【質問6】P61の認証マークですが、“名水そだち”と銘打ってあると、秦野の湧き水を使用していると誤解してしまいます。製造工程のどこかで湧き水を意識して使っているならば分かりますが、そのあたりは実際どうなっているのでしょうか？マークが付いている物品すべてについて、湧き水を使っているのでしょうか？“秦野は湧き水があって、そういう秦野で作られた農作物なので＝名水そだちにしよう”という感覚だとしたら、消費者としては誤解を招きますし、表示としては不適切だと思います。	D	御指摘のあった「名水そだち」が示す「名水」は、本市内の湧き水だけを示すのではなく、地下水をくみ上げ、主要な水源とする水道水も含めて示すものです。したがって、秦野市優良農産物等登録認証制度による認証を受けたものは、ミネラル成分を適度に含み、過マンガン酸カリウム量及び残留塩素が少なく、臭気のないこれらの水に適合したものという意味でマークが付けられています。

◎項目

素案全体に関する事項

第1章 プランの策定にあたって

第2章 本市の食に関する特色

第3章 本市の食を取り巻く現状

第4章 プランの基本的な考え方

第5章 基本目標別、施策の方向性と基本施策〈機関別〉

第6章 ライフステージ別の取組み〈個人取組み〉

第7章 プランの推進体制

参考資料等

◎区分(プランへ反映するにあたっての考え方の区分)

A: 意見等の趣旨等を計画に反映したもの

B: 意見等の趣旨等はすでに計画に反映されていると考えるもの

C: 意見等の趣旨等を計画に反映することは困難だが、参考とさせていただくもの

D: 内容に関する感想等、その他のもの